

2025年3月25日に開催された「2024年度全学共通プログラム修了判定委員会及びデータサイエンス・プログラムWG合同委員会」では、2024年度の「データサイエンス・リテラシー（DSL）教育プログラム」の終了に当たって、その点検・評価・改善について審議した。概要は次の通りである。

2024年度の「データサイエンス・リテラシー（DSL）教育プログラム」の終了に当たって、その点検・評価・改善について審議した。

I. 2024年度「DSL教育プログラム」の実施結果について

- 2024年度「DSL教育プログラム」への参加者について説明があった。開始当初の5名から2024年度には163名まで順調に増加しており、特に、各授業において参加の呼びかけがあったことも功を奏したとの報告があった。
- 「DSL教育プログラム」の2023年度における授業科目の履修者数について説明があり、ほぼ昨年度と同傾向にあることの説明があった。また、「市場調査論」の履修者数が200名を超えており、教室収容数から次年度は履修制限をすることになったとの意見があった。
- 本年度、13名が本プログラムを修了し、累計修了者数は19名となったことの報告があった。また、プログラム参加者数に比べて、修了者数が若干少ないとの意見があったが、参加学生が自己申告をしないことや必須科目の開講時限が遅いことも影響しているのではないかととの意見があった。

II. 2024年度における「データ分析」について

本年度開講した「データ分析」について、各委員より、実施報告及び今後の課題等について報告があった。その主たる内容は以下の通りである。

(実施報告)

- SNSなどでのトラブルを起こさないように、巻き込まれないようにするため、PC操作スキルやデータ分析だけでなく、「情報モラル・リテラシー」に重点を置いた指導を実施。変化の激しい社会において、必要な学習内容を柔軟かつタイムリーに取り入れることの重要性を再認識している。
- 演習中心の授業形式であるため、ノートPCの故障や修理が学習進行に大きな影響を与えるが、今年度は762教室で一時的に貸出可能なPCが用意されており、非常に助かった。
- 現1年生は、文科省GIGAスクール構想初年度での学習経験がある学生が多く、一人一台端末での学習に慣れていることもあり、機器トラブルや準備不足が減少傾向にある。
- 本学では、40人程度の少人数でのきめ細かい講義を行い、成果を上げていると考えて

いる。

- 社会科学の学生を対象とする授業のため、法学、経済学、経営学、商学に関するデータ分析を使った分析をできるように本学独自の教科書を作成し、学生に興味を持ってもらえるように努力してきており、この教科書も、毎年改定を重ね（来年度で4版目）、よりよいものにするようにしている。
- 受講生の基礎能力にはばらつきがあるが、一番できる学生が興味を失わないように、提出させる課題の内容等で対応している。
- 担当者が、月に1回程度の会議を持ち、困っている点、うまくいった教授方法の共有などを行っている。
- 「授業評価アンケート」では、「授業内容、授業方法、授業の満足度」の質問項目において、各学部とも高い肯定評価の回答を得た。また、自由記述欄のマイナス評価も昨年度に比べて大幅に減少した。
- 3学部の肯定評価にはばらつきがあり、経済学部と経営学部では90%以上であったのに対して、法学部では相対的にそれが低かったが、理由として考えられることは、それぞれの学問内容(数値的分析の多さの違い)に由来しているかもしれない。

(今後の課題等)

- 来年度より、全学生がBYODによる一人一台端末を持つ環境が整備される。これに伴い、全学必修としての「データ分析」の効果や課題について、情報共有や検討を行う必要があり、PC操作スキルとデータ分析の基礎指導のバランスを図ることが求められる。
- アプリケーションスキルの習熟度は過去と大きな変化は見られないが、高校で個人端末を使用していた学生の入学が増えることを見据え、授業内容の充実に努める必要がある。
- 3学部の「授業評価アンケート」において学部間に差異があることについて、前期(法学部)の受講か、後期(経済・経営学部)の受講かによる分析に対する修得の慣れの違いが影響している部分もあることから、このことを考慮した授業方法も必要である。

III. 2025年度「DSL教育プログラム」の実施について

- 2025年度からは新校舎での講義を実施することになり、受講生のやる気が増すことを期待している
- 次年度(2025年度)の参加者募集についても、数回の説明会を開催するとともに、本年度と同様に、各授業(特に必修科目である「データ分析」)において参加募集のアナウンスを行うこととし、参加申請紙を配布することになった。

IV. その他

- 「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」総会(2025年3月10

日)及び中国ブロックワークショップ(2025年3月17日)への参加報告があった。

- 「2024年度岡山大学 AI・数理データサイエンス教育シンポジウム」(2025年3月13日)において、本学の「データサイエンス・リテラシー教育プログラム」について基調報告を行ったことの説明があった。

以 上